

笠間陶芸大学校事業による人材育成



図 1 造形課題 I 授業風景(1 年生)



図 2 卒業制作課題制作風景(2 年生)



図 3 研究科前期展発表風景(研究科)



図 4 入賞作品例(左:茨城県展特賞, 右:茨城県展奨励賞)

【内 容】

本事業は、陶芸産地を担う人材育成を図る目的で実施しており、陶芸学科(1年生9名(図1)、2年生9名(図2))と研究科(2名(図3))の学生が下記のカリキュラム内容で学んでいます。

学科	カリキュラム(約 200 日 1400 時間)
陶芸学科 1 年生	導入課題, 成形課題, ロクロ成形課題, 石膏課題, 意匠課題, 釉薬調合, 焼成実習, 特別講座など
陶芸学科 2 年生	造形課題, ポートフォリオ課題, 特別講座, 卒業制作など
研究科	自主課題, インターン実習, 特別講座, 卒業制作など

学生は作品作りをとおして、何を表現したいのか、なぜ陶芸なのか、個としてモノを作る姿勢や考え方を身に付け、独自の技法・デザインを確立していきます。

今年度は計 11 名が卒業予定で、それぞれ現代陶芸作家を目指し、地元を中心に独立自営や窯元就業する学生、あるいは進学する学生においても、将来の笠間産地を担う人材として大いに期待されます。

その他、情報発信としてオープンキャンパス(授業体験や校内見学)の2回の開催や、研究科前期展を行うことで、次年度以降の学生候補者への当校 PR に努めました。

- オープンキャンパス: 8/18, 10/13 計 63 名参加
- 研究科前期展: 9/14~9/20 76 名
- 公募展: 入賞 3 点(図 4), 入選 4 点
- 卒業制作展 2019: H31 年 2/9~2/17
- 報道 37 件: 新聞 15 件, TV 1 件, ラジオ 1 件, インターネット記事 10 件, その他 10 件

基礎となった事業

平成 30 年度 笠間陶芸大学校事業

現在の担当部門

人材育成部門	部 門 長	尾形 尚子	TEL:0296-72-0316
	特任教授	佐藤 雅之	
	特任教授	五味 謙二	
	主任研究員	常世田 茂	
	嘱 託	根本 達志	
工芸・材料技術部門	主任研究員	吉田 博和	